

吹奏楽部第55回定期演奏会

6月16日(日)に県民文化会館大ホールで2回開催し、合計で約2,400人の方に来ていただきました。在校生・保護者の方も多数ご来場いただきありがとうございました。

第1部は序曲「徳川頼貞」から始まり、コンクールの課題曲を3曲と和歌山キワニスクラブ青少年のメッセージの「きらり賞」を受賞した昨年度卒業生作曲のコンサートマーチ「輝く明日へ」を中心になって作曲した雑賀椋太郎先輩の指揮で演奏しました。最後は屋久島の情景を描いた「森の贈り物」で締めくくりました。

2部は3年続けて福井県立武生商業高校の植田薫先生をお招きし、ファンキーな曲を中心にアンコールも含めて6曲演奏しました。特に最後のシェイク・ア・テイル・フェザーではお客様も一緒に体を動かしてもらって会場全員で楽しみました。

3部「ステージ・ショウ」はミュージカル、実写版映画にもなっているディズニーの「アラジン」をナレーション・劇・マーチング・歌・ダンスを素晴らしい照明の下で演奏・演技することができました。3年生が役を演じ、役者のキャラクターのマッチングはバッチリで好評でした。

最後は3年生の歌「感謝カンゲキ雨嵐」で3年間の出来事を歌詞にし、思いでを振り返りながら歌いました。

保護者感想

第一回では、スタッフとしてお手伝いの合間に見せていただき、第二回では客席でじっくり見せていただき、観客層の違いでこんなにも演奏会の雰囲気が変わるものだというのがとても面白かったです。でもどちらも本当に良かったです！2年前に娘が初めて定演に出演させていただいた時、3年の先輩方のステージショウの素晴らしさに驚き、感動しました。最後に先生に一人一人名前を呼んでもらっているのを見て、娘にはまだまだ先の事だと思っていましたが、昨日、先生から名前を呼んでいただいた時、この星林吹奏楽部に入部させていただいた頃からの事が走馬灯のように思い出され、とても感慨深かったです。ここで先生方、先輩方、一緒に頑張ってきた仲間達や後輩達、関わりのあった全ての人達に出会えた事、学んできた事は娘の宝になっていると思います。

親としてずっと心配ばかりしてきたマイペースで個性的な子どもが、あんな素晴らしい舞台上、星林吹奏楽部の一員として立派に演奏する姿に感動し、胸がいっぱいになりました。高校入学以来、毎日ヘトヘトになって帰ってくる子どもが、疲れとは裏腹に「楽しいねん」と笑う笑顔の訳が、この演奏会を観て、すべてわかった気がします。

子どもは、吹奏楽部と出会ってから、音楽やそれにまつわる技術を学ぶだけではなく、人と人との関わり、皆が目標に向かって努力すること、そして様々な人や環境に感謝するという、人生においてとても大切なことを学ばせて頂いていると思っています。

出演した子供たち、指導してくださった先生方、お手伝いしてくださった保護者やOBの方々、本当にお疲れ様でした。今年はなかなか全員揃っての練習ができずに大変だったのに、本番はみんな120%の力を発揮して、素晴らしい演奏でした。毎日の練習でヘトヘトなはずなのに、第一部では力強い演奏を披露してくれ、第二部では、笑顔いっぱい激しいダンスをし、第三部では、ユーモア溢れる演技とそれにぴったりあった演奏を奏でてくれました。最後の3年生が歌詞を考えたという嵐の曲、あの数行に生徒たちの思いが詰まっていて、思わず涙が出てしまいました。この1日を成功させるために、学校でも家でもクラブ漬けだった子供たち、本当に素晴らしかったです。素敵な時間を有り難うございました。吹奏楽部に関わるすべての方々に、親子共々に感謝の気持ちでいっぱいです。

生徒感想

星林に入って最初に出た定演もすごく感動したけど、一昨日はそれ以上に感動して一生の思い出になりました。実行委員の子たち含めていっぱい動いてくれた2年生、何が何だか分からないまま必死についてきてくれた1年生、本当にありがとうございました。そしてこの定演は見えないところでも沢山の人のおかげで成り立ったものだとことを忘れずに感謝をしたいです。3年生のみんなが大好きなのでこのメンバーでアラジンが出来て良かったです！

ずっと前から定演に向けて練習してきて、途中上手くいかないこともあったりして練習が大変な時もありましたが諦めずに頑張ってきて良かったなと思います。本番までにも色々な事が重なり、完成度も完璧にはできませんでしたが、昨日の本番は今までで一番良いものだと思います。リハなどの練習の時言われたことをすぐにできた時があり、その時は少し自分たちの成長を実感できましたが、まだ指示が一回で通らなかつたりすぐ忘れてしまっていることもあるのでこれからも意識を落とさず自分たちの当たり前前を増やしていければいいなと思います。昨日の本番で二回公演は星林生が多く、特に2部では今までにないくらい盛り上がり自分もやっていると心から楽しいと思うことができました。3部も特に大きなミスがなく来てくれていた友達や家族に良かったと言ってもらえてとても嬉しかったです。定演を通してお客さんを楽ませることの大切さと頑張ったものを褒めてもらえる嬉しさを改めて実感できました。

この定期演奏会は中学校の頃から本当に憧れで、憧れのステージにこのメンバーで立つことができ本当によかったです。私は感謝カンゲキ雨嵐のときに後ろで星を振っていたんですけど、そこから見える客席からの光や、皆さんが演奏している姿がとても綺麗でかっこよくて本当に感動しました。練習中も足を引っ張ってしまったり、2部直前にハプニングを起こしてしまったり、最後まで迷惑かけっぱなしで本当に申し訳ないです。でも、うまく対応していただき、助けていただいてありがとうございました！先輩方が練習や定演に向けての準備をしている姿を見てかっこいいなと感じました。来年は自分たちが様々な仕事をこなしていかなければいけなく、不安もありますが先輩方のようにになれるよう頑張ります！



